



大阪府立大学大学院看護学研究科

がん看護講演会

がんの個別化医療の現状と医療者の役割

日時 **2018年 9/29 土** 13:30-16:30
(受付開始/13:00より)

場所 **大阪府立大学 I-siteなんば**
大阪市浪速区敷津東2丁目1-41 南海なんば第1ビル2階



← アクセスの詳細は
こちらから



「がんの個別化医療の実際と展望」

西尾 和人 近畿大学大学院医学研究科ゲノム生物学講座 教授



「がん医療における遺伝カウンセリングの実際」

鹿嶋 見奈 兵庫医科大学病院 遺伝子医療部 認定遺伝カウンセラー



「遺伝性腫瘍をもつ患者・家族への支援」

日下 咲 兵庫県立がんセンター がん看護専門看護師

参加費
無料

対象 **がん医療に携わる医療従事者・大学院生**

お申し込み方法 参加希望の方は、①名前 ②電話番号(日中連絡可能な番号)
③所属先(病院名等) ④職種を明記して下記アドレスまでEメールにてお申し込みください。

※会場の都合により、事前申込みをお願いいたします。参加の可否につきましては、メールで改めてご連絡いたします。
※お申込みいただいた個人情報は、7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン関連のみに使用させていただきます。

gankouenkai@nursing.osakafu-u.ac.jp



お申込みは
こちらから



大阪府立大学 がんプロ事務局

〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3-7-30
Tel: 072-950-2815(平日10:00~16:00) Fax: 072-950-2816



2018 年度がん看護講演会を開催しました

2018 年度がん看護講演会を「がんの個別化医療の現状と医療者の役割」をテーマに、9月29日(土) I-site なんばにて開催いたしました。

近畿大学医学部ゲノム生物学教室 教授 西尾和人先生、兵庫医科大学病院 認定遺伝カウンセラー 鹿嶋見奈先生、兵庫県立がんセンター がん看護専門看護師 日下咲先生の3名を講師に迎え、各職種の立場から、がんの個別化医療における基本的な知識、遺伝性腫瘍をもつ患者・家族の支援の実際についてご講演いただきました。参加者からは、看護師に期待される役割、遺伝カウンセラーとの協働、看護師として実践できるケアについて学ぶことができた、どのようなケアを患者・家族に提供できるか考える機会となった、苦手意識をもちやすいテーマであるが非常にわかりやすかった、まだまだ知らない部分があり参考になったなどの感想をいただき、有意義な講演会とすることができました。



(実施風景)